

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36537
事業名	生物多様性推進費					
評価担当課	所属名	環)環境都市推 環境対策課				
	課長名	濱田 敏裕	担当者名	寺島 寛樹	電話番号	011-211-2879
施策名	主	自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外	戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、市民や事業者の生物多様性の理解の浸透を図り、自然環境の保全と生物多様性に配慮したライフスタイルの実践を促進させる。 ・生物多様性の理解度:33.1%(H23)⇒70%(R4)			
		長期	温暖化と並ぶ喫緊の地球環境問題となっている生物多様性を、将来にわたり保全・創出し、持続可能な社会に貢献する。			
	取組内容	自然環境保全及び生物多様性に配慮したライフスタイルの見直し促進 ①生物多様性ビジョン改定調査／②市民参加型プログラム:市民参加による生き物調査／③協働型生き物調査:市民団体等との生物調査／④生物多様性活動拠点ネットワーク:環境関連施設との連携事業／⑤生物多様性自治体ネットワーク:全国会議参加／⑥自然環境調査:生物多様性重点エリアの生物相調査／⑦外来種対策:外来種啓発・対策／⑧動植物データベース保守／⑨生物多様性ビジョン進捗管理:年次報告書作成／⑩普及啓発イベント				
	実施結果	①生物多様性部会を3回開催してビジョン改定を検討②市民参加型プログラム:「さっぽろ生き物さがし2021」2,185名③協働型生き物調査:2団体から計4,625件データ提供④生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク:オンラインクイズラリー、285名参加⑤生物多様性自治体ネットワーク:オンライン会議参加⑥自然環境調査:市内5地点で魚類、底生生物調査⑦外来種対策:アズマヒキガエル、ウチダザリガニ対策⑧動植物データベース保守:データ追加⑨年次報告書作成⑩普及啓発イベント:外来種に係るオンラインワークショップ開催、親子58組参加				
事業実施における工夫点	生き物調査など市民参加型のイベントを行うことで、普及啓発を兼ねた効果的な情報の収集や啓発ツールの作成を行っている。					
対象者	市民・活動団体・事業者	開始	平成23年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	生物多様性基本法、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律、北海道生物の多様性の保全等に関する条例					
他都市の状況	47都道府県(令和4年8月末現在)、名古屋市、神戸市、新潟市等の149市区町村(令和4年8月末現在)が地域戦略を策定し生物多様性保全へ向けた取組を推進している。(令和4年9月配布の環境省自然環境計画課生物多様性戦略推進室資料)					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	13,977	15,000	14,864	17,000	
うち特定財源	2,882	1,800	1,800	1,800	
人工	2.2	2.2	2.2	2.2	
人件費	15,840	15,840	15,840	15,840	
計(事業費+人件費)	29,817	30,840	30,704	32,840	
事業費の内訳	令和3年度決算	①生物多様性さっぽろビジョン改定2,000千円、②市民参加型プログラム5,115千円、③協働型生き物調査118千円、④生物多様性活動拠点ネットワーク242千円、⑥自然環境調査2,948千円、⑦外来種対策518千円、⑧動植物データベース559千円、⑨生物多様性ビジョン進捗管理237千円、⑩普及啓発イベント1,880千円、その他1,168千円			
	令和4年度予算	①生物多様性さっぽろビジョン改定966千円、②市民参加型プログラム6,270千円、③協働型生き物調査210千円、④生物多様性活動拠点ネットワーク263千円、⑥自然環境調査4,316千円、⑦外来種対策955千円、⑧動植物データベース568千円、⑨生物多様性ビジョン進捗管理212千円、⑩普及啓発イベント1,921千円、その他1,319千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	市民参加型生き物調査参加者数(人)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1,383	900	2,185	2,000	
活動指標2	指標名	生物多様性に配慮した原料を調達している事業者の割合(%)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	52.2	50	45.4	50	
成果指標1	指標名	市街地のうち、市民参加型生き物調査が行われた地区の割合(%)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	63.7	48	77.4	50	
成果指標2	指標名	生物多様性の理解度(%)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	35.1	65	34.2	70	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の理解度は、目標値(60%)を達成できておらず前年度からは0.9ポイント減少し34.2%となった。</li> <li>・生物多様性に配慮した原料を調達している事業者の割合は45.4%と目標値(50%)を下回った。</li> <li>・オンラインワークショップのアンケートでは、回答数は少なかったものの、ワークショップの参加による意識変容が見られ、生物多様性への理解向上につながった。</li> </ul>			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全は、市民、活動団体、事業者など多様な主体と連携し、継続的に取り組む必要がある。様々な主体を対象としている本事業の規模は適切である。</li> <li>・子どもから大人を対象とした市民参加型生き物調査を実施するなど、普及啓発を兼ねた動植物データの収集に取り組んでおり、参加者も増加傾向である。</li> </ul>			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性等を考慮し、一部を委託するなど効率的な執行に努めている。</li> <li>・協働型生き物調査や生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク事業など、多様な主体と連携しながら事業を実施した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防の観点から、オンラインワークショップやオンラインクイズラリーの開催、新たに開始したTwitterによる情報発信を実施して普及啓発に努めている。</li> </ul>			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加型生き物調査には、2,185名が参加し、前年度の参加者(1,384名)に比べて500名以上増加した。</li> <li>・オンラインクイズラリーのアンケートでは、参加者の98%が「満足、まあまあ満足」と回答があった。</li> <li>・オンラインワークショップには親子58組が参加し、アンケートではサイトの閲覧による意識変容が見られ、生物多様性の理解向上につながった。</li> </ul>			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の理解度向上のため、様々な主体と連携した事業やSNSを活用した効果的な普及啓発を継続して実施する。</li> <li>・市内における外来種の生息状況を継続的な調査により把握し、計画的に防除を実施するとともに、地域住民や学校を対象とした普及啓発や協働による防除の実施を検討する。</li> </ul>				
前回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	新たに令和3年度からカッコー先生公式Twitterを開設し、継続的に情報発信を実施している。			見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	市民参加型生き物調査の参加人数は前年度から大幅に増加しており、今後も継続することで、さらなる生物多様性の啓発及び市内の動植物データの蓄積が期待される。 生物多様性の理解度向上のためには、理解度の低い層への普及が課題である。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 「生物多様性さっぽろビジョン」改定に向けた検討を進める。 市内における外来種対策において、地域や学校と連携した取組を進める。			
	予算	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 事業内容の検証、見直し結果を踏まえて、適切な予算措置を行う。			見直し効果額